

設 立 趣 旨 書

環境文化のための対話研究所(IDEC)は、地域遺産の潜在的な活力を引き出し、市民活動の力を発展させることを通じて、地域社会の持続可能な発展のために貢献します。本法人は、その為の調査研究・企画立案・事業運営までを主体的に行い、また他の市民活動団体や他地域に対する支援活動を行います。

本法人は、清瀬市および多摩地域を活動のベースとして、地域遺産の研究・保全・活用を核とした、地域社会の持続可能な発展をめざす市民学習システムづくり(エコミュージアムづくり)を活動の主軸に据え、(1)多様な地域遺産の掘り起こし、(2)専門家と市民の協働による調査研究の実践、(3)柔軟で機能的な市民学習システムの構築、(4)持続可能な社会に向けた市民事業の企画運営、を行います。

今や、市民活動の領域は地球規模の環境問題から足元の地域づくりまで多彩な広がりを見せ、それら相互の連携と協働が模索されています。環境文化のための対話研究所(IDEC)は、地域コミュニティ内の市民活動をつなぎ、日本国内外の市民活動や地域づくりの活動と連携し、持続可能な地域づくりを現場から支え、そこから情報発信するネットワーク型の市民組織として、特に子どもや高齢者の参画を図りながら、多様な主体との協働を積極的に進めていきます。

こうした願いを実現していく事業に取り組むため、特定非営利活動法人 環境文化のための対話研究所(IDEC)を設立します。

平成15年3月16日

特定非営利活動法人 環境文化のための対話研究所

代表者 住所 清瀬市野塩1丁目307番地1-203

氏名 嵯峨創平 印